



## 2022年 令和4年8月号

### シニアドライバー向け安全運転講習会受講報告

6月15日（水）シニアドライバー向け安全運転講習会が公民館で開催されました。講師に損害保険ジャパン株式会社をお招きし、受講者 11 人が熱心に耳を傾け質問もたくさん出ました。

講師の解りやすい説明で身の引き締まる講習でした。事故の具体例や、あおり運転の恐ろしさ、ほんのちょっとした不注意事故で10年以上も事故の対応に苦しみ続けなくてはならない例などどれも身につまされました。



講師の方々



熱心にメモをとる受講者

#### 運転に当たっては…

- 「スピードがでていなくても幼児飛び出しなどに注意する」
- 「あおり運転を受けない・巻き込まれないために適切な車間距離を空ける」
- 「被害者となるのは自宅近くの事故が多いので近所での歩行や自転車の搭乗に注意する」

#### なお、あおり運転に遭遇したら…

「相手にせず速やかに進路を譲る」「安全な場所に車を止め警察に通報する」「同乗者はナンバーなどの記録や通報を行う」「ドライブレコーダーやカメラを有効活用する」「相手が降車してもドアをロックし車外に出ない」ということでした。これらに注意して加害者にも被害者にもならないように心がけたいものです。

また、市役所交通防犯課からは、後付け安全運転支援装置（踏み間違い加速抑制システム）の設置に対する補助制度（半額補助）と運転免許証の自主返納には交通系 IC カードへの入金・購入した場合の費用の助成制度が紹介されました。筆者も早速、後付け安全運転支援装置を申請し、取り付けました。

**受講者の感想：**受けてよかった。事故の恐ろしさがよくわかった。・事故を起こした場合補償が多額になることにびっくり。安全運転に心がけたい・講習会などを聞く機会がすくないので公共的な話題は刺激になります。

（報告者 牧野）



## 第18回 童句翁忌句会 受賞作品発表！ 狭山童句研究会

### ●童句翁忌句会ってなあに？

童話「かわいそうなぞう」の作者として知られ、長年狭山市で暮らした児童文学作家の故・土家由岐雄氏が子どもの心で詠む俳句「童句」を提唱したことから童句翁と呼ばれ、氏の命日である7月3日を「童句翁忌（どうくおうき）」として定め、「童句」発祥の地、狭山市で2005年から毎年この時期に狭山童句研究会による童句大会「童句翁忌句会（どうくおうきくかい）」を開催しております。

#### 特選

好きな子の 後ろのうしろ 盆踊り  
日の匂い 母のにおいの 干し布団

#### 入選

かじかむ手 母の頬っぺで 温める  
ランドセル 背負い見上げる 初つばめ  
木枯しに 負けじとばかり ペダル漕ぐ  
蜘蛛が 糸張りめぐらせて 通せん坊  
流れ星 一つじゃたりない 願い事

岩間 喜久子  
堀田 安代  
木村 鈴子  
高田 貞子  
今井 悦子  
竹本 登志子  
双木 和巳

#### 献句

若景風 童句碑案内 智光山 津田 郁  
指折って 作る五・七・五 童句翁忌 佐藤 桂子  
父母と 童句翁忌に 読む童句 芝田 恵美子  
八月のラジオより 「かわいそうなぞう」 渡川 誠

投句 86句 投稿 29名  
特選 2句 入選 5句 佳作 8句 高得点者 賞 3句 献句 4句、ご投稿してくださった 29名の皆様、ありがとうございました！

